

「世界津波の日」 高校生サミット in 黒潮
High School Students Summit on “World Tsunami Awareness Day” in Kuroshio
【開催要項】

開催趣旨

津波の脅威と対策への国際的な意識向上を目的に、日本が提唱し日本を含む世界 142 カ国が共同提案を行った、11 月 5 日を国連の共通記念日である「世界津波の日」とすることについて、2015 年 12 月、国連総会委員会において全会一致で採択されました。

日本では、すでに 11 月 5 日を「津波防災の日」として定めています。

これは、1854 年旧暦 11 月 5 日に起きた安政南海地震の際、和歌山県広川町の庄屋だった浜口梧陵（はまぐち ごりょう）が、稲わらに火をつけ、村人を高台に導いて大津波から命を救った逸話「稲むらの火」に由来しています。

このたび、「世界津波の日」の啓発イベントとして、青少年による国際会議「世界津波の日」高校生サミットを、高知県黒潮町において開催します。

高知県黒潮町は、南海トラフ地震による国の被害想定において、津波高 34 メートルという国内一の想定を受けた町です。その想定後黒潮町では、地震津波で一人の犠牲者も出さないことを理念に、防災インフラ整備、防災教育、防災産業の創出など、様々な取り組みを進めています。

地震津波は多くの人命を奪い、甚大な被害をもたらす各国共通の課題です。

今回の高校生サミットは、防災の知見と地震津波の脅威を伝え、必要な防災、減災、迅速な復旧復興、国際連携に資する施策を総合的かつ計画的に実行することで、地震津波から国民の生命、身体、財産の保護、国民生活及び国民経済に及ぼす影響を最小化できる、国土強靱化を担う将来のリーダーを育成することを目的に開催します。

1. 主催 高知県、高知県教育委員会、黒潮町、黒潮町教育委員会
2. 共催 国連国際防災戦略事務局（UNISDR）駐日事務所
3. 後援 国土強靱化推進本部 内閣府（防災担当） 外務省
文部科学省 経済協力開発機構（OECD）
4. 開催日 2016 年 11 月 25 日（金）～26 日（土）
5. 会場 土佐西南大規模公園 体育館他
住所：高知県幡多郡黒潮町入野 388
電話番号：0880-43-0166
6. 参加者 海外招聘者 約 290 名（高校生約 250 名 引率約 40 名/参加国 29 カ国）
国内参加者 約 160 名（高校生約 110 名 引率約 50 名/参加校 35）
（計約 450 名 高校生約 360 名 引率約 90 名）
7. 日程 別紙日程表のとおり
8. 分科会（ワークショップ）テーマ
 - (1) 全体テーマ
「自然災害から生きぬくために、次世代を担う私たちができること
～自助・共助・公助の視点から～」
 - (2) 分科会の分野
 - ①自然災害を知る（「津波」から命を守るために身につけておくべきこと、自分の住む地域の災害リスク、災害教訓の伝承、「世界津波の日」の普及等）
 - ②自然災害への備え（減災のために学校や地域・家庭でできる取組の提案等）
 - ③自然災害からの復興（持続可能なボランティア活動の取組など、学生が果たす役割）